

科 目 名	発 達 心 理 学					開 講 キャンパス	神 園
担 当 者	高 尾 兼 利						
開 講 年 次	1	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	人の心の発達について、実感を伴って理解できるように解説する。発達を支援する働きかけ、発達の障害の基本について解説する。子育て支援と親の成長について教授する。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 心身の成長を実感できる。 2) 発達段階を説明できる。 3) 発達課題を説明できる。 4) 発達の危機を理解できる。 5) 各発達段階の特徴を理解できる。 6) 発達の障害について説明できる。 7) 子育て支援について説明できる。						
学 習 方 法	講義						
テキスト及び参考書等	テキスト「保育と教育に生かす臨床心理学」高尾兼利・平山諭編著（ミネルヴァ書房）						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	○			70		
小テスト等	○	○	○		20		
宿題・授業外レポート							
授業態度			◎		10		
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	人の心についての基本的理解						
第 2 週	発達の基本的考え方 実感と理解						
第 3 週	初期発達の意味						
第 4 週	胎児期・乳児期の理解						
第 5 週	幼児期の理解						
第 6 週	児童期の理解						
第 7 週	青年期の理解						
第 8 週	成人期の理解						
第 9 週	老年期の理解						
第 10 週	発達の基本的考え方 実感と理解						
第 11 週	発達の障害についての理解						
第 12 週	発達の障害についての関与						
第 13 週	子育て支援についての基本的理解						
第 14 週	幼児の親の心の成長についての理解						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考	各回の受講後、自らの体験と学習した概念を結びつけるように試みること。また、受講前には、それまでの学びを振り返っておくこと。						